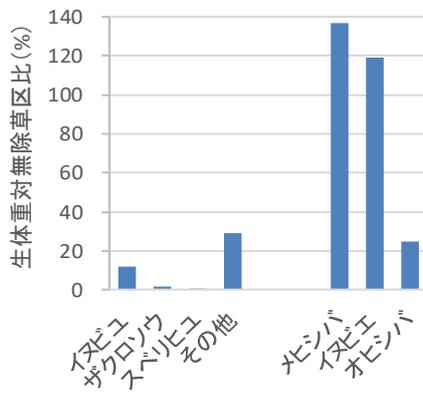


一年生非イネ科雑草に効果が高くゴマ栽培に利用できる リニュロン水和剤の除草効果

利用対象：ゴマ生産経営体、指導機関

目的：三重県では実需者との連携によりゴマの生産拡大に取り組んでいますが、登録除草剤がほとんど無く生産振興上の問題となっていました。そこで一年生雑草に効果が高いとされる除草剤リニュロン水和剤（商品名ロロックス水和剤）の除草効果およびゴマへの薬害について明らかにし、ゴマに利用できる除草剤としての登録拡大を推進しました。

成果：一年生非イネ科雑草（イヌビユ、ザクロソウ及びスベリヒユ等）に対して除草効果が認められました。一方、メヒシバ等の一年生イネ科雑草に対しては除草効果が認められませんでした。なお、薬剤処理に起因するゴマの生育への影響は認められません。本剤の利用方法は、使用量 200g/10a、播種後出芽前（雑草発生前）処理の全面土壌散布、使用回数は1回です。



一年生非イネ科雑草 一年生イネ科雑草

図1 リニュロン水和剤の除草効果

注)「その他」はエノキグサ、カヤツリグサ、タカサブロウ等の合計

表1 リニュロン水和剤処理がゴマの生育や収量に及ぼす影響

試験区名	薬害調査		生育調査			成熟期調査	収量調査	
	症状	程度	苗立数 (本/m ²)	主茎長 (cm)	葉数 (枚)	主茎長 (cm)	収量 (kg/10a)	同左比率 (%)
無除草区	—	無	20.8	25.7	4.4	101	85.7	—
完全除草区	—	無	18.8	17.2	4.1	100	87.6	100
処理区	—	無	17.2	19.0	4.1	85	54.8	63*
(参考) 倍量処理区	—	無	18.7	19.5	4.2	98	80.8	92

*収量の低下は、区内における雨水滞留による湿害が原因であり、薬剤処理に起因するものではない。

活用面および留意点：

- ・上記のデータは、令和2年度において当研究所（松阪市）で実施した試験結果です。
- ・リニュロン水和剤は令和3年作のゴマ栽培から利用可能となりました。
- ・一年生イネ科雑草に対しては除草効果が十分でないため、トリフルラリン乳剤の使用、中耕培土等と組み合わせた除草体系により防除を徹底してください。
- ・リニュロン水和剤とトリフルラリン乳剤の混用がゴマの生育や収量に及ぼす影響については未確認であるため、今後確認していきます。

お問い合わせ先

生産技術研究室 農産研究課 佐藤恒亮 電話 0598-42-6359
中央農業改良普及センター 田畑茂樹 電話 0598-42-6323

参考になる資料

<https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm> (三重農研HP)